



第55回 山形県民芸術祭

開幕式典・記念公演

9月9日(土)、10日(日)の2日間、山形県民芸術祭開幕式典と記念公演が町民交流センター「虹のプラザ」多目的ホールで開催されました。開幕式典では声楽家の佐藤登さん(本町)による山形県民の歌「最上川」の独唱、「コーラス虹」による町民歌の合唱が披露されました。

記念公演「『虹を呼ぶひと』〜愛し恋し心のふるさと〜」は、現代の大石田町を舞台にした演劇と町の芸術文化団体の歌と踊りと太鼓、加えてクライマックスに絵画パフォーマンスを組み合わせた総合舞台。キャストの多くは演劇経験がなく、舞台美術や衣裳もすべて町民の手で作った舞台です。

このほか歓迎セレモニーとしてエントランスには呈茶席が設けられ、プロムナードでは町内の5団体による大黒舞と神楽舞の披露、また琴演奏や、書道・絵画などの展示も行われ、会場となった「虹のプラザ」全体が華やかな雰囲気になっていました。

大石田町町民交流センター「虹のプラザ」がオープン



大石田町町民交流センター「虹のプラザ」が9月1日(金)にオープンしました。町民交流センター「虹のプラザ」には図書館、保健センター、子育て世代活動支援センター、社会福祉協議会などの機能が集約され、それぞれの空間を行き来して相互に利用できるよう工夫されています。オープン初日から各施設には読書や子育ての相談、健診などに多くの町民が訪れて交流が生まれています。

図書館

オープンを記念するテープカットが行われ、一番乗りで訪れた大石田中学校の生徒を山形県おもてなし課長「きてけろくん」が出迎えました。



子育て世代活動支援センター「にじっこひろば」

オープンから10日で100名を超える方が利用登録されています。適度な広さで小さなお子さんも安全に遊ばせることができます。



保健センター

保健センターは、エアロビクス教室のほか、総合健診の会場としても利用されています。健診車はプロムナードの中まで乗り入れ可能で、雨の日でも濡れることなく健診ができます。

